



図4 血虚水滯が背景にある冷えによる手指の荒れと出血(治療前)



図5 当帰芍薬散内服1週間後の改善された手指(治療後)

のほせているので冷え症ではないと間違えられやすいが、足はかなり冷えている。

皮膚症状が合併する場合は、桂枝茯苓丸加薏苡仁^{ケイシブクリョウガンカヨクイニン}が有効で、月経前に痤瘡が悪化する場合など低用量ピルに併用して使用することがある¹⁰⁾。

加味逍遥散は、タイプIV「体感異常型：肝うつ型」でストレスが背景にある冷えを改善する代表方剤である。血を補う当帰・芍薬、血を巡らす牡丹皮、水を巡らす茯苓・朮に加えて、^{サイコ}氣に効く柴胡・^{サンシシ}山梔子・^{ハツカ}薄荷を含み、中間証(体力中程度)で気分が逍遥するものに有効である。以下に症例を示す。

症例1：当帰芍薬散

タイプIIの冷え「四肢末端型：血虚型」

〔患者〕81歳男性

〔主訴〕足の冷え、指先の荒れと出血

〔既往歴〕脳梗塞、閉塞性動脈硬化症、心房細動、房室ブロックにてペースメーカー留置

〔現病歴〕15年程前に脳梗塞を発症した。抗凝固薬の内服、カテーテル治療、和温療法とリハビリを継続中であるが、足の冷えとむくみを感じるが多くなり、両手指先の荒れと出血で痛みがあるため漢方療法を希望されて当院初診となった(図4)。

〔現症〕身長163cm、体重55kg、血圧130/75mmHg、脈70回/分・整、Hb9.0g/dLと貧血を認めた。手足に冷えがあり下肢に軽度の浮腫を認めた。

〔治療〕血虚水滯のタイプと診断し、当帰芍薬散(TJ-23)7.5g/日を内服したところ、1週間後には、冷えと

浮腫が軽減し指先の荒れと出血も治癒した(図5)。漢方薬は休業した。

**症例2：桂枝茯苓丸加薏苡仁
タイプIII「上熱下寒型：瘀血型」**

〔患者〕25歳女性、OL

〔主訴〕月経前の痤瘡、月経痛、足の冷え

〔既往歴〕とくになし

〔現病歴〕数年前から、月経困難症、肩こり、腰痛、下肢のむくみ、月経1週間前からの便秘、イライラ、あごのラインの赤色のニキビに悩まされていた。他院を受診し、月経困難症の診断で、低用量ピルを処方され内服した。月経痛は軽快傾向にあるも症状の残存が認められるため当院初診となった。

〔現症〕身長160cm、体重63kg、血圧

120/65mmHg、脈68回/分・整、子宮筋腫や子宮内膜症なし。内科疾患なし。血液生化学所見問題なし。やや赤ら顔で足に冷えがあり、下腹部に抵抗と圧痛を認めた。

〔治療〕桂枝茯苓丸加薏苡仁(TJ-125)7.5g/日を低用量ピルと併用、便秘に対しては桃核承気湯^{トウカクジョウキトウ}(TJ-61)2.5gを頓服で使用したところ、1か月後には月経痛と月経前緊張症の改善が認められ、2か月後には痤瘡が消失した。挙児希望あり、低用量ピルを休業した。